

放送システム委員会報告(案)に対する意見及びそれに対する考え方(案)

章	項目	提出された意見	委員会の考え方(案)	修正の有無
全体		<p>放送システム委員会報告(案)(23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件)に賛同いたします。</p> <p>今日、ケーブルテレビ伝送は、広帯域・双方向化は必須で、また、地上デジタル放送等の再放送においても、データ放送等を利用した視聴者参加型の双方向サービスが必須と成っています。</p> <p>この様な背景のもと「23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件」が早期に省令化されることを希望すると共に、早期に商品が市場に提供されることを期待します。</p> <p style="text-align: right;">【一般社団法人 日本CATV技術協会】</p>	<p>本報告(案)への賛成のご意見として承ります。</p> <p>また、いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	無
全体		<p>今回の23GHz帯無線伝送システムの技術的条件に賛同します。</p> <p>23GHz帯無線伝送システムは、災害時の復旧用だけでなくケーブルが河川や鉄道を横断できない場合、集合住宅向けのアクセスラインとしての利用や離島向け伝送路などへの活用が期待されます。また、多くのケーブルテレビ事業者はインターネット接続サービスを行っており、災害時の復旧に際しても放送サービスだけでなく通信サービスも用いた情報伝達が必要不可欠となっています。</p> <p>双方向化が可能となる23GHz帯無線伝送システムが低廉な価格で提供され、全国のケーブルテレビ事業者による利活用が実現することを期待します。</p> <p style="text-align: right;">【日本ケーブルテレビ連盟】</p>	<p>本報告(案)への賛成のご意見として承ります。</p> <p>また、いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	無
4	今後の検討課題	<p>4K・8K実用放送の再放送やインターネット接続サービスの高速化に対応するため、ケーブルテレビ事業者は伝送路の高度化を進めて伝送帯域の確保に取り組んでいることから、このような無線伝送システムの更なる高度化に向けた検討が進められることを期待します。</p> <p style="text-align: right;">【日本ケーブルテレビ連盟】</p>	<p>いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	無